

## 編集後記

21世紀は都市の時代と言われて  
います。ICTや環境技術などの先  
端技術を駆使したエネルギー需給の  
最適化が図られた都市や、生活に必  
要な機能を中心部に集中させて公共  
交通機関や徒歩で暮せる都市、環境  
負荷の軽減・人と自然の共生・アメ  
ニティの創出を図った質の高い都市  
など、スマートシティ・コンパクト  
シティ・エコシティなどと呼ばれる  
次世代都市を建設する構想や取組み  
が注目を集め、すでに多くの自治体  
や企業において様々な実証実験が行  
われ、一部においては実際の事業が  
開始されています。

これらは、人口減少や高齢社会へ  
の対応、都市の低炭素化の促進、持  
続可能な地域社会の創出などが大き  
な狙いとなっています。どこに重点  
を置いた取組みかで、「〇〇シティ」  
と呼び方が異なると考えれば分かり  
やすいかもしれません。

東日本大震災の被災地において  
も、様々な課題がある中で、これら  
の構想を取入れながら災害に強い都  
市の計画や建設が始まっています。  
特に高齢化と過疎化が進む地域で  
は、生活に必要な機能を集中させる  
コンパクトシティが街づくりの鍵に

なると言われています。被災地の「復  
興まちづくり」が我が国の先進モデ  
ルになる可能性を秘めています。

さて今月号ですが、巻頭言を「ス  
martシティで描く日本の成長戦  
略」と題して東京工業大学の柏木孝  
夫特命教授に執筆頂きました。特集  
報文としては、今後の都市のあり方  
と取り組むべき戦略、前述の次世代都  
市実現にあたっての考え方や、構想  
実現に向けた実際の取組み状況、電  
力エネルギー分野では導入が不可欠  
となっているスマートグリッドなど、  
広範囲にわたって寄稿していただ  
きました。一方、東日本大震災の  
復興・復旧については、「新しい東北」  
の創造に向けた取組み、早期の工事  
着手や事業期間短縮に向けたCM  
の導入、災害廃棄物等の処理状況、  
山岳部・臨海部における復興・復旧  
工事に関して執筆をいただきました。

次世代都市実現に向けた取組み  
は、震災復興や国内各自治体での事  
業展開に留まらず、近い将来世界各  
地のニーズを受けて、日本の産業の  
牽引役として変貌することが大いに  
期待されています。

最後になりましたが、お忙しいな  
か快く執筆を引き受けていただきま  
した執筆者の皆様に、心から御礼申  
し上げます。(篠原・和田)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	塚原 重美
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

### 編集委員長

田中 康順 鹿島道路(株)

### 編集委員

吉田 潔	国土交通省
持山 昌知	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
篠原 望	鹿島建設(株)
立石 洋二	大成建設(株)
藤吉 卓也	清水建設(株)
赤井 亮太	(株)大林組
久保 隆道	(株)竹中工務店
安川 良博	(株)熊谷組
川西 健之	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
相田 尚	(株)NIPPO
岡本 直樹	山崎建設(株)
原 茂宏	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
船原三佐夫	日立建機(株)
原口 宏	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
和田 一知	(株)KCM
江本 平	範多機械(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

### 事務局

日本建設機械施工協会

### 4月号「建設の情報化・無人化・ロボット化特集」予告

- ・次世代社会インフラ用ロボット開発・導入検討会
- ・国土交通省における CIM の取組み
- ・情報化施工の現状と将来展望
- ・情報化施工が導くスマートな建設現場―事例紹介―
- ・情報化施工機を支える CAT の技術
- ・情報化施工 2D 油圧ショベル等
- ・情報化施工を活用した 3D 盛土情報管理システムを開発
- ・施工計画・管理の 4D-CAD による見える化
- ・ネットワーク型次世代無人化施工技術
- ・重機遠隔操作における 3D スキャナーの活用
- ・災害対応ロボット技術と運用
- ・壁面放射線量測定装置「さ一兵衛」の開発
- ・磁界と IC タグを利用して重機周囲を常時監視する「アラウンドウォッチャー」

## 建設機械施工

### Journal of JCMA

第 66 巻第 3 号 (2014 年 3 月号) (通巻 769 号)

Vol. 66 No. 3 March 2014

2014 (平成 26) 年 3 月 20 日印刷

2014 (平成 26) 年 3 月 25 日発行 (毎月 1 回 25 日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501 ; Fax (03) 3432-0289 ; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二丁目 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10	電話 (052) 962-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30	電話 (092) 436-3322

本誌上への  
の広告は



有限会社 サンタナ アートワークス までお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-21-5 井手口ビル 4F TEL : 03-3664-0118 FAX : 03-3664-0138

E-mail : [san-mich@zam.att.ne.jp](mailto:san-mich@zam.att.ne.jp) 担当 : 田中